

C型肝炎のお薬



公立八女総合病院
薬剤科

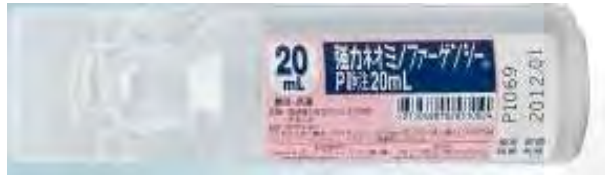
対症療法（肝庇護療法）

- ・・・肝炎の悪化を防ぐ

原因療法（抗ウイルス療法）

- ・・・完全治癒を目指す

対症療法（肝庇護療法）



- 肝臓を保護したり炎症を抑えたりする
- 抗ウイルス療法（インターフェロンなど）に比べて副作用は少ないが、ウイルスを排除できない
- 小柴胡湯はインターフェロンと一緒に使えない

原因療法（抗ウイルス療法）

治療法は、ウイルスのタイプや体の状態などを参考に決定

- インターフェロン単独
 - インターフェロン＋リバビリン
 - インターフェロン＋リバビリン＋プロテアーゼ阻害薬
-
- ダクルインザ錠＋スンベプラカプセル
 - ソバルディ錠＋リバビリン
 - ハーボニー配合錠

現在は、飲み薬の治療が中心となっています

ダクルインザ錠＋スンベプラカプセル

- ダクルインザ錠（ダクラタスビル）
→ウイルスが増えるのを直接防ぐお薬



1日1回（1回1錠）内服

- スンベプラカプセル（アスナプレビル）
→ウイルスが増えるのを直接防ぐお薬



1日2回（1回1カプセル）内服

ダクルインザ錠＋スンベプラカプセル

- HCVグループ1の方が対象
- 24週間（6ヶ月）継続して服用する
- 副作用：肝機能障害、発熱、鼻咽頭炎、頭痛、皮疹など
- 他のお薬、サプリメントとの飲み合わせに注意
一緒に飲んではいけないお薬が多数あり
- 服用期間中は、グレープフルーツの摂取やグレープフルーツジュースの飲用は避ける
- 妊娠中、授乳中の方は治療ができない

●ダクルインザ・スンベプラと一緒に服用してはいけないお薬とサプリメント

薬剤名など
アゾール系抗真菌剤 ケトコナゾール イトラコナゾール（イトリゾール） フルコナゾール（ジフルカン） ホスフルコナゾール（プロジフ） ボリコナゾール（ブイフェンド） ミコナゾール（フロリード）
テラプレビル（テラビック）
クラリスロマイシン（クラリス）
エリスロマイシン（エリスロシン）
ジルチアゼム（ヘルベッサ）
ベラパミル塩酸塩（ワソラン）
コビシスタットを含有する製剤（スタリビルド）
HIVプロテアーゼ阻害剤 リトナビル（ノービア） アタザナビル硫酸塩（レイアタッツ） インジナビル硫酸塩エタノール付加物（クリキシバン） サキナビルメシル酸塩（インビラーゼ） ダルナビルエタノール付加物（ブリジスタ） ネルフィナビルメシル酸塩（ビラセプト） ホスアンプレナビルカルシウム水和物（レクシヴァ） ロピナビル/リトナビル（カレトラ）

薬剤名など
リファンピシン（リファジン） リファブチン（ミコブティン）
抗てんかん剤 フェニトン（アレビアチン） カルバマゼピン（テグレート） フェノバルビタール（フェノバル）
デキサメタゾン全身投与（デカドロン）
モダフィニル（モディオダール）
非ヌクレオシド系逆転写酵素阻害剤 （リルピビルン塩酸塩を除く） エファビレンツ（ストックリン） エトラビルン（インテレンス） ネビラピン（ビラミュン）
ボセンタン水和物（トラクリア）
セイヨウオトギリソウ （セント・ジョーンズ・ワート）含有食品
シクロスポリン（サンディミュン）
フレカイニド（タンボコール）
プロパフェノン（プロノン）

ハーボニー配合錠

- ハーボニー配合錠

(ソホスブビル+レジパスビル)

→ウイルスが増えるのを直接防ぐお薬



1日1回（1回1錠）内服

ハーボニー配合錠

- HCVグループ1の方が対象
- 12週間（3ヶ月）継続して服用する
- 副作用：貧血、頭痛、吐き気、便秘、口内炎、腹部不快感、皮膚のかゆみ、疲労感など
- 他のお薬、サプリメントとの飲み合わせに注意
- 腎機能が悪い方、透析中の方は治療ができない
- 妊娠中の方に対する安全性は不明

●ハーボニーと一緒に服用してはいけないお薬とサプリメント

薬剤名など	種類	理由
リファンピシン（リファジン）	抗結核薬	一緒に服用すると、「ソフォスブビル」の 血液中の濃度が低下し 効果が弱まるおそれがあります
カルバマゼピン（テグレート） フェニトイン（アレビアチン）	抗てんかん薬	
セイヨウオトギリソウ （セント・ジョーンズ・ワート）含有食品	サプリメント	

●ハーボニーと一緒に服用する際に特に注意が必要なお薬

薬剤名など	種類	理由
アミオダロン	不整脈治療薬	徐脈などの不整脈があらわれることがあります

●ハーボニーと一緒に服用する際に注意が必要なお薬

薬剤名など
制酸剤（胃薬：水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム等）
H ₂ 受容体拮抗剤（胃潰瘍/十二指腸潰瘍治療薬：ファモチジン等）
プロトンポンプ阻害剤（胃酸分泌抑制薬：オメプラゾール等）
ジゴキシン（強心剤）
リファブチン（抗結核薬）
フェノバルビタール（抗てんかん薬）
テノホビル（HIV/B型肝炎治療薬）
ロスバスタチン（高コレステロール血症治療薬）

ソバルディ錠とリバビリソ

- ソバルディ錠（ソホスブビル）

→ウイルスが増えるのを直接防ぐお薬



1日1回（1回1錠）内服

- コペガス錠/レボトールカプセル（リバビリソ）

→一緒に飲むことで抗ウイルス作用が増強する



1日2回、朝食後と夕食後に内服

★体格や腎機能など、状態に応じて飲む量が変わります

ソバルディ錠とリバビリン

- HCVグループ**2**の方が対象
- 12週間（3ヶ月）継続して服用する
- 副作用：貧血（ヘモグロビン減少）、頭痛、疲労感、吐き気、皮膚のかゆみなど
- 他のお薬、サプリメントとの飲み合わせに注意
- 腎機能が悪い方、透析中の方は治療ができない
- 妊娠中の方は治療ができない

●ソバルディと一緒に服用してはいけないお薬とサプリメント

薬剤名など	種類	理由
リファンピシン（リファジン）	抗結核薬	一緒に服用するとソバルディの血液中の濃度が低下し効果が弱まるおそれがあります
カルバマゼピン（テグレートール） フェニトイン（アレビアチン）	抗てんかん薬	
セイヨウオトギリソウ （セント・ジョーンズ・ワート）含有食品	サプリメント	

☀️ どちらも、とても高価なお薬です
なくしてしまわないように注意しましょう



ハーボニー配合錠

約8万円（1錠）



ソバルディ錠

約6万円（1錠）



毎日お薬を飲むことが大切です

お薬の効果は、毎日忘れずに服用することで発揮されます。
飲み忘れないように心がけましょう。

お薬を飲み忘れると、血液中の薬の濃度が下がり、
ウイルスの排除が難しくなることがあります。

服用時と飲み忘れ時の薬とウイルスの関係(イメージ)

規則正しく服用すると…



規則正しく服用することで、ウイルスの排除を期待できるようになります。

飲み忘れると…



飲み忘れると薬の濃度が下がり、ウイルスの排除が難しくなります。

副作用かな？と思ったら



お薬の服用中に、体の調子がいつもと違うなと思ったら...

自己判断でお薬の服用を中止せず、すぐにご相談ください。

早めに対策をとることで、副作用の症状を最小限に抑えることができます。



他のお薬との飲み合わせ

一緒に飲んでしまうと、効果が弱くなったり、反対に効果が強く出てしまうお薬がたくさんあります。サプリメントにも注意が必要です。

現在飲んでいるお薬や、今後新たに飲み始めるお薬があるときは、必ずお知らせください。

また、他院・他科へ受診する場合は、C型肝炎の治療薬を服用していることをお伝えください。

（おくすり手帳や治療手帳を提示してください）

お薬手帳は1冊に！



ご清聴
ありがとうございました

